

事業計画書

(※市ホームページに掲載予定ですので、できる限りわかりやすく記載してください。)

団体名 中山五月台六丁目自治会

1 事業種別	行政提案型・○自由提案型
※行政提案型 事業テーマ	(事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入)
2 事業名	芋煮会・防災訓練
3 事業を行おうとした動機・必要性	我が町中山五月台六丁目は、約50年を経過し住民の高齢化が進み、社会活動（人との会話や外出、行事参加等）への参加や自治会活動への参加者が減少きているように感じます。「中山台コミュニティ街づくり協議会」主催の「防災訓練」には、避難場所でもある中山五月台中学校での開催なので、移動距離を感じて参加を妨げていることも推測できますが、参加者は年々少なくなりつつあります。昨今の災害情報を目のあたりにすると、我が街の住民の「災害」に対する意識や備えは大丈夫かと不安に感じます。特に近年は住民同士の交流が希薄になりつつもあり、災害時に必要な共助が、機能するだろうか懸念されます。 災害時には公助（自治体対応）だけでなく、自助（自分の身の^{を自らの}を自ら守る努力によって守る）、共助（地域や近隣の人々が相互に協力しあって防災・教授活動に取り組む）が、住民ひとりひとりがどのように活動できるかが重要だと考えます。 そこで、昨年秋に実施して好評だった「芋煮会」を発展させて、我が自治会における住民と近隣自治会住民の「災害」に対する意識向上のきっかけづくりとして、「芋煮会・防災訓練」を開催し防災意識向上に役立てたい。「遠い親戚より近くの他人」と言われるように、緊急時や災害時には近隣住民が相互に助け合う行動することが、大切な命が守れるものと考えます。 行事を実施するにあたり、宝塚市総合防災課と相談の上、明日にも起こるかもしれない「災害への心構え」の講演会講師派遣、防災器具の借用、保存食・段ボールベットの展示などを展開する。同時に地域の防災委員会、民生委員とも協力して数多くの住民を巻き込んでの運営を実施したいと考えている。また、特に外出不自由な住民には民生委員と相談協力してできる限り参加を促し、参加者とのふれあいを大切に、会話を通して日頃の様子を確認する。同時に季節感のある「芋煮会」を開催して、日常的に家にこもりがちの方と、会食を通して住民同士の交流・ふれあい交流を深めていけるように心がけたい。

4 事業を行う目的と期待される効果

※審査基準のうち「効果の広域性」「独創性」「継続性」が判断できる内容を含めて記載してください。

高齢化世帯が進み一人暮らしも増加している今日、高齢者の社会活動の大切や重要性が叫ばれておりますが、現実的には社会活動への参加が「まあいいか」「次にしよう」とかになり、難しい状況にあります。

自治会として住民の社会活動のきっかけづくりを、夏祭り・芋煮会・とんど焼き餅つきなど年間を通して開催し、できる限り住民の外出機会を増やそうとしております。

近年は自治会主催にも関わらず参加者が減少傾向にあり、特に住民同士の助け合い精神の希薄さも相まってきているのが現状です。最近の災害情報（異常気象や各地で発生している地震等）は、近畿地方でもいつ起きてもおかしくない状況にあると思われる今日では、災害時に必要な共助が懸念されます。そこで、昨年実施した「芋^煮の会」と同時に「防災意識向上体験」を組み入れて、災害時における自助はもちろんのこと「共助」の必要性のきっかけづくりをし、災害時における「共助」の必要性を学び、体験をして住民同士ご近所付き合いの活性化や共助の心構えが生まれることを期待するものです。この事業を定例化できるようにして行きたいと考えております。

5 申請までの検討経過

- ①自治会役員会、幹事会にて補助金申請の承認を得る。
- ②六丁目防災委員会、民生委員と自治会役員会と事業のプロジェクトチームを編成する。
- ③事業運営にあたり課題点について話し合いをする。
- ④自治会役員会・幹事会にて詳細確認する。
- ⑤市民協働課および総合^{防災}災害課（講演会講師）について相談する。

6 事業の内容
※実施時期、場所、回数、参加予定人員等を含めて具体的に記載してください。 場 所：集会所横スポーツグラウンド ＜実施時期＞ 2026年11月3日（祝） 参加人数：300人程 ①防災意識向上のための訓練を体験する。 保存食・段ボールベットなどの災害用品展示、ガイドブック・グッズなどの配布 ②講演会の開催 宝塚市総合防災課へ講師依頼する。 ③紙芝居の上演 (紙芝居屋のガッチャン) ④災害防災課より借用する「大鍋」を使用した「芋煮会」の開催および災害時における総合炊き出しの体験をする。 ⑤災害ガイドブックを配布する。(総合災害課より提供を受ける) ⑥参加者にノベルティグッズ配布。 防災
7 市の担当課との事前協議の経過（事業種別が行政提案型事業の場合のみ記入）
(※参考※) ①2026年4月 1日 総合防災課に相談に行く。 ②2026年4月 4日 自治会役員会で「きずなづくり推進事業」補助金申請の話し合いを行い、その後の自治会幹事会で承認される。同時に自治会幹事会で補助金申請書類に関して自治会役員への一任を取り付けた。 ②2026年4月 6日 市民 協働推進課に相談に行く。 ③2026年5月 1日 事業のための防災委員会、自治会役員、民生委員でプロジェクトチームを立ち上げる。 ④2026年4月～9月 問題解決の話し合いをする。

8 実施する安全対策

- ①スタッフ・参加者の怪我等に備えるため保険に加入する。
- ②参加者の個人情報が発生した場合、パスワードで保護したうえでP Cに保管する。
- ③特別養護者の参加を見越して「車いす」を用意する。
- ④介助する役割を明確にして、参加者に安心感を持たすようにする。
- ⑤看護師を手配して緊急時に備える。
- ⑥必要に応じて指導横断の交通整理をする。